

## 天童訪問記

参加者：6名

10月9日（日）～10日（月・祝）

10月9日から10日、関東フォーラムの6人は天童市の全国有機農法連絡会の山形山農場にお邪魔しました。全国有機農法連絡会は、関東フォーラムの会員でもある米山夫妻が中心になって立ち上げられた、無農薬のお米や野菜の会員制宅配システムです。今回訪問する山形山農場では、完全無農薬で野菜を作っておられます。

9日1時に天童市に集合すると、農場の佐藤さんが車で迎えに来てくださっていました。まず、山寺に連れて行っていただきちょっと観光したのち、農場のわきにある静心荘という宿泊施設にお邪魔しました。夕食は米山夫人ともう一人の女性、小沼さんが手作りしてくださったもので、農場で採れた野菜たっぷりのごちそう。いったい何品くらい出たのでしょうか、芋煮、煮びたし、天ぷら、白和え・・・おいしいうえに体にも心にも心地よい食事を楽しみました。その間、米山氏が農場の来歴を話してくださいました。山を切り開いて開拓された農場ですが、その後放棄されていたものを再び畑に戻されたそうです。以前は農地だったとはいえ、いったん放棄されたものを元に戻すのは大変なことだったでしょう。食事作りを手伝ってくださっていた小沼さんは小柄な女性なのですが、なんと伝説的なキノコ採集の名人だそうで、キノコや山菜採りの際に何度もクマに遭遇されているとか。クマに会った時の対処の仕方や原発以降イノシシが農場にも現れるようになった経緯等、興味深く伺いました。華奢な雰囲気の方なのに、山に入るときはいつも一人だとか、その勇気にびっくりしました。

翌10日は早朝から少し山道を登り、山形山農場を見学しました。低いとはいえ山の頂上で、視界が開けています。広い畑はきれいに整備されており、気持ち良い朝の空気をいっぱい吸いました。そして、米山さんのご厚意によって、ニラ、カブ、マイタケやクリなどをいっぱい収穫し、お土産にいただきました。

食後は月山に行き、ネイチャー・センターのガイドさんのご案内で、少し色づき始めた山道の散策を楽しんだ後、天童駅に戻り解散しました。

今回の旅行は米山さんをはじめとする全国有機農法連絡会の皆さんの温かい歓待に迎えられて、実に気持ち良く過ごせました。無農薬野菜のおいしさも満喫しました。また、この地を選んで移住された米山夫妻はもちろん、若い佐藤さんも天童を心から愛し、雪深い冬の天童の美しさを熱く語っておられた姿がとても印象に残りました。

山形の人の温もりに触れた旅でした。本当にありがとうございました、厚く御礼申し上げます。

文責・小川真理子

